



滋賀の教育大綱

『未来を拓く心豊かで  
たくましい人づくり』

～人生 100 年を見据えて～

《めざす生徒像》(伝統の継承)

『正しく』 『明るく』 『たくましく』

- ①自律できる生徒(正しい判断と強い意志、実践力)
- ②互いに認め合える生徒(思いやりの心、自他の尊重)
- ③やる気のある生徒(自ら学ぶ意欲、心身の鍛錬)

長浜の教育基本方針

『つながりあい、学びあ  
い、豊かに生きる人づく  
りをめざす「ながはま」』

《学校教育目標》

『より良い自分を求め、自  
立できる生徒の育成』

- ★進んで自らを高め、未来を切り拓いていく力を育成する。
- ★自尊感情と存在感を高め、つながりあいを大切にする。
- ★誰一人取り残すことのない、個別最適化を目指す。

キーワード:「自立」「共生」「創造」「貢献」

めざす学校像 「わくわく、いきいき、どんどん～子どもが主人公の学校づくり～」

- ☆わくわく…生徒がわくわくとする学校(安心・安全・笑顔)
- ☆いきいき…教師がいきいきと教育にあたる学校(チーム高月中)
- ☆どんどん…保護者・地域がどんどん参加する学校(連携・協働)

熱  
意

誠  
意

創  
意

「令和の教育革命元年」

～ コロナ禍・新学習指導要領・GIGA スクール構想 ～

保護者との信頼関係

- ・生徒を中心に据えて
- ・PTA 活動の充実

地域との信頼関係

- ・支援と貢献の両面
- ・学校運営協議会

【本年度の重点目標と具体的方策】

②居心地の良い学級集団

- 「居場所」と「出番」のある集団づくり
- ・親和的な雰囲気の中で、自分らしさを発揮する意欲と雰囲気を高める。
- 生徒一人ひとりが活躍できる場と仲間と協働できる場の設定
- 集団生活のルールへの定着と思いやりの風土の醸成

③特別支援教育の充実

- 生徒個々の特性に応じた支援の充実
- 通級指導教室(新設)の有効活用
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 特別支援学級への支援体制の確立
- 教員個々の指導力向上と研修の充実
- 保護者支援や家庭連携の推進

①確かな学力を育む授業づくり

- 「読み解く力」の視点を踏まえた授業実践の在り方の追究
- ・「理解・再構築」につながる授業実践
- ・研究授業と研究協議会の充実
- 「高月中スタンダード」の確立と徹底
- ・「めあて」「手だて」「学びあい」「まとめ」「振り返り」
- 「家庭学習(宿題)」の充実
- ・授業と連動した家庭学習の推進
- ・個別の課題の克服に向けた学習
- 「ICT機器」を効果的に活用した授業の推進
- ・個別最適な学びと協働的な学び
- ・実践交流や研修会の充実

⑥ともに学び合う教職員集団

- OJTの充実、自主勉強会の推進

④個に応じた学びの場の創造

- 「別室(ピュアルーム)」の運営(生きる力加配)
- 校内教育相談体制の充実(SC、SSW)
- 高月中学区全体としての共通課題と実践
- 個々の状況に応じた多様な選択肢
- ・民間団体も含めた新たな連携の模索

⑤豊かな心の育成

- 道徳教育、心の教育の充実
- 「立腰教育」の推進
- ・腰骨を立てることで、良い姿勢を保持し集中力を高める。
- 平凡な事を非凡に取り組む。
- ・「凡事徹底」を合言葉に、「あすこそは(「挨拶」「スマイル(笑顔)」「腰骨」「掃除」「はきもの」)を徹底する。

『人生 100 年時代を生き抜く「人」としての土台づくり』

「時を守り」

「場を清め」

「礼を正す」

(すべての人の時間を守り大切にする。)(整理整頓と掃除に真摯に取り組む。)(元気でさわやかなあいさつを交わす。)